

特集 命を守る

「命を守るために私ができることは何だろうか。」

新型コロナウイルス感染症への警戒が引き続き必要とされる中、台風などが頻発する出水期に差し掛かってきました。

あなたは、どんな備えをしていますか。一番近い避難所、避難所までの安全なルート、家族の集合場所、避難先へ持っていくと良いものなど知っていますか？そもそも、避難のタイミングは？考え出すと不安や疑問は尽きないと思います。

集中豪雨や台風などの豪雨災害は、一瞬の判断の遅れが命を脅かす一方向もって備えておくことができます。知っていれば、いざというときに活用できます。「自らの命は自分で守る」主体的な行動が求められています。

命は一つしかありません。あなたの大切な人を守るために。また大切なあなた自身を守るために。正しい知識を身に付けて、一緒に災害に備えましょう。



あなたにできることがある

まずは備えを

「台風が来る」「大雨が降りそう」。6～10月は、台風や集中豪雨による災害がよく起こるため、特に警戒を厳重にすべき「出水期」です。

ホームページやハザードマップを確認

避難所の場所については、市ホームページで確認できます。避難所までのルートを確認する時に役立つのがハザードマップです。災害の起こりそうな場所や範囲を知ることができます。自宅が土砂災害や浸水害の時にどういった影響を受ける場所にあるのか、避難所までの安全なルートがあるか(できれば複数)などを確認し、自宅が安全な場合は宅内避難も想定しておきましょう。

情報収集を習慣に

台風や大雨は、ある程度予測ができ、事前に情報を得られます。天気予報だけでなく、テレビのデータ放送やスマートフォンでの災害情報アプリ、気象庁のホームページなどを

活用して、情報収集しましょう。

もちろん、予報の精度が上がっているとはいえ、完璧ではありません。ゲリラ豪雨など、急な場合もあります。そのようなときには、自分の命を守るために、取るべき行動を身に付けておく必要があります。

【情報発信・収集手段】

- ◆防災行政無線(放送内容はテレホンサービス(02-7400)で確認できます)
- ◆緊急速報メール
- ◆テレビのデータ放送
- ◆FMまいづる(77.5MHz)
- ◆SNS(Facebook)
- ◆まいづるメール配信サービス
- ◆市ホームページ
- ◆市公式ライン

避難する時は助け合って

災害時には、自分たちの力だけで避難しなければならぬ場面も出てきます。いざというときに、近所で助け合える「共助」の関係を築いておくことがとても大切です。配慮を必要とする人への支援など自主防災組織等で取り組まれている地域もあります。

警戒レベル3、4で避難

昨年度から、避難情報の発表方法が

警戒レベル(※1)	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を。	災害発生情報(市町村が発表)(※2)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先への避難を。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急)(市町村が発表)(※3)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間がかかる人(高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難を。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発表)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等(気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発表)

※1…各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
 ※2…災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発表
 ※3…地域の状況に応じて緊急的もしくは重ねて避難を促す場合などに発表

変わりました。警戒レベルを1～5の5段階で発表します。それぞれの

段階で取るべき行動を知っておいてください。レベルごとの内容は、左表のとおり。防災行政無線やメール配信サービスでお知らせし、避難所の開設なども同様にお知らせします。

▶まいづるメール配信サービス



▶市ホームページ



▶市公式ライン

